

100号発行記念特集

新春インタビュー「スタンドアップ」

—全議員に抱負を聞きました—



目次

●議会だよりの足跡	2-3
●新春インタビュー	4-7
●第4回12月定例議会	8
●第4回・5回臨時議会	9
●意見書・請願	10-11
●委員会レポート	12-17
●一般質問(9人が登壇)	18-26
●ありゃ～どうなったがいね～	27
●突撃！街かどインタビュー	28

100号

平成22年1月27日発行
12月定例会

スタンドアップ!



〈恋人の聖地〉サンセットブリッジ



昭和60年5月
うちなだ議会だより
第一号

町村議会広報

全国コンクール入賞記録



平成元年度 (第4回)
優秀賞5席 (第18号)



平成2年度 (第5回)
入選 (第22号)



平成3年度 (第6回)
奨励賞 (第26号)



平成5年度 (第8回)
奨励賞 (第33号)



平成6年度 (第9回)
奨励賞 (第36号)



平成7年度 (第10回)
奨励賞 (第39号)

祝100号発刊

石川県内灘町議会 議長 能村憲治



昭和六十年五月十日創刊号を発行以来、二十五年の歳月を経て、100号記念誌を発行できましたことは、先輩議員や歴代の広報委員各位のご努力とご協力によるものと深く感謝を申し上げます。

さて、昨年は政権の交代がありました。国民にとって景気の回復を切望するところですが、国の動向をうかがいながら、町民の皆様におかれましては安心安全な生活が営まれるよう、私たち議会議員一同、様々な課題に取り組みでまいりたいと考えております。

「うちなだ議会だより」は、これまで議会広報全国コンクールにおいて、昨年は政権の交代がありました。国民にとって景気の回復を切望するところですが、国の動向をうかがいながら、町民の皆様におかれましては安心安全な生活が営まれるよう、私たち議会議員一同、様々な課題に取り組みでまいりたいと考えております。

「うちなだ議会だより」は、これまで議会広報全国コンクールにおいて、

議会だより 100号

25年のあゆみ



平成18年度(第21回)
奨励賞(第85号)



平成17年度(第20回)
奨励賞(第81号)



平成13年度(第16回)
奨励賞(第65号)



平成12年度(第15回)
奨励賞(第59号)



平成10年度(第13回)
入選(第52号)



平成9年度(第12回)
入選(第49号)



平成8年度(第11回)
奨励賞(第45号)

町民視点からの広報づくり

議会広報対策特別委員長 藤井良信



「議会だより」は今回で100号となりました。

激動の年が予感される新春での記念特集号の発刊にあたりまして、私たち議会広報委員はこれまで、大きな足跡を飾ってこられた偉大な先輩議員の意志を受け継ぎ、正確で見やすく、読み

やすい紙面づくりはもとより、町民のみなさまに、より親しまれる編集を心掛けております。

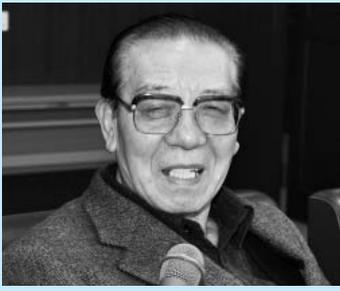
近年、地域主権の高まりとともに、議会の活性化への推進が行なわれているところですが、住民主体のまちづくりにおきましては、「議会だより」の使命が益々期待され、注目されています。

今後も、議会一丸となり、町民のみなさまの視点に立った広報づくりに邁進してまいります。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

町のタウンミーティングについてお聞きします

米田 満 議員



町民との意見交換の場が大切

現在タウンミーティングや各種団体との意見交換会は、町執行部が行なっていますが、本来ならば議会が率先してやるべきことだと思います。
「町民の声を行政へ」この根本を忘れる事なく、今後の議会の課題として、年2〜3回意見交換の場を各町会で設ける事を早急に実施すべきと考えています。



福祉施策を最優先に

年頭での所感を
お聞きかせください

南 守雄 議員

日本経済は大変厳しい状況ですが、まず地域住民の生活保障ができるよう福祉施策が一番大切だと思います。
北部県道沿いで人が歩いて、安全が確保できるようLED照明でもっと明るくならないかなど、安心して暮らせるまちづくりについて想い描いているところですね。

行財政改革推進についてお聞きかせください

中川 達 議員



光輝く内灘町のために

行財政改革推進に携わり、2年8ヶ月たった今日、住民一人当たりの借入れ残高が県内一少ない我が町、先人の知恵、現実の感覚、将来の希望に向かつて。緊張が続く国内情勢の中、子供達に間違いなく渡していけるまちづくりのため、住民・議会・行政が責任をもって取り組むべき時期です。光り輝く内灘町のために。

議会改革についてお聞きします



開かれた議会を目指す

八田 外茂男 議員

現在、議会運営委員長に就いておりますので、議会改革について積極的に取り組んでいきたいと思っております。
一般質問の一问一答方式の導入や、議会タウンミーティングはもちろんです、各委員会の公開や予算委員会の設置など、改革すべきものはしっかりと改革し、より町民の皆様が開かれた議会を目指し頑張っていきたいですね。

新年を迎えての
決意をお聞きます

渡辺 旺 議員



議会も大きく
変わらなければ

昨年は政権交代での事業仕分けが、初めて大衆の前で開かれました。
その一方、地域主権がよいよ進められ、自治体にも権限と財源が移り、町の将来は大きく変わると思います。
そのためには、議会も大きく変わらなければならぬと考えます。



安心して
住み続けられる町に

男女共同参画について
お聞きます

水口 裕子 議員

協働のまちづくりや議会改革など全ての面で、男女共同参画の視点が欠かせません。
男も女も共に自分の力を発揮して、年をとっても、障がいをもっても安心して住み続けられる内灘町に。
今年も、「女性議員が増え、傍聴席が女性でいっぱいになる」という長年の夢に向かって進みます。

議会のあり方について
お聞きます

清水 文雄 議員



「議会基本条例」の
制定をめざす

「地域主権」の時代は、自治体（町長）の権限が拡大するだけに、議会には、それをしっかりとチエックする監視機能と政策立案機能が、非常に重要となってきました。
一方で、議会はより一層の改革を進め、その積み重ねのうえで「議会基本条例」の制定をめざさなければなりません。



地域活動こそ町民の声

これからのまちづくり
についてお聞きます

北川 進 議員

地域活動こそ町民の声であると考えています。
まちづくり自治基本条例がこれから検討されていくにあたり、町会や公民館活動の中からその実動部隊が生まれてくるのではないかと期待をしています。
地域で考え、地域の声を大事にした取り組みが肝要であると思います。

全議員にお聞きしました

新春インタビュー「スタンドアップ」

町民へのメッセージを聞かせてください

夷藤 満 議員



希望を共に分かち合いたい

これまでの中央集権型行政も、いよいよ本格的に地方分権時代へとシフトしております。今後、効果的・効率的に、時代に適応できる施策の提言を行い、成果を達成していくことが重要です。この町に住むことで得られる人生への希望を共に分かち合いたいと考えております。



弱者の味方になって…

不況の中、あなたの考えていることをお聞きします

北川 悦子 議員

仕事が無い。給料が減った。わずかな年金で暮らしていけないなど、切実な相談に心を痛めている中、「弱者の味方になって下さい」と賀状が内灘の友人から届きました。雇用を増やし、社会保障をよくしてこそ景気もよくなる。みなさんの不安にこたえる政治へと進めていきたいです。

今後の北部地区の開発についてお聞きします

恩道 正博 議員



町の活性化への展望

福祉センターにかわる町の宿泊施設の誘致です。総合公園を中心とする利用者のための施設や、町でのセミナー開催場など多角的に利用できるコミュニティ施設があったら定住化への促進にもなります。町の活性化へ向けての展望が開けていくよう取り組んでいきたいと思えます。



地域全体での応援を

少子化対策についてお聞きします

藤井 良信 議員

町の各種団体での活動を通じて、少子化対策としての「持続・発展・教育」が理解され、知識化されることが次世代の文化であると考えます。子供たちの個性や思いやりの心を育むことを最優先とする教育のため、地域全体で応援できるよう社会組織の拡充と再整備が必要と感じています。

議員定数について
お聞きします

川口 正己 議員



定数削減を推進

議員定数削減は、私の第一公約です。
昨年9月に、全議員にアンケートが取られましたが、「現状のまま」が8人、「削減を検討する」が8人との調査結果でした。
この定数削減は、多くの町民の声であることから、議会運営委員会での十分な検討を求めたいです。



「志」と「勇気」である

議会人としての心構え
をお聞かせください

南 和彦 議員

昨今の時局を考察するに、地方の今後においては、これまで以上に新たな課題に直面すると思います。対して、更に高度な「判断力」・「決定力」・「実行力」・「解決力」が要求されてくるでしょう。その源となるものは「志」と「勇気」であると考えます。今後も議会人として情理を尽くす覚悟です。

新年を迎えての
決意をお聞きします

生田 勇人 議員



夢と希望をもって
取り組む

日本海と河北潟を擁する当町の魅力を最大限に引き出し、そこに財源を見出すことの出来るよう提案していきたいですね。
財源の確保こそ、まだまだ北部地区には足りないインフラ整備や町全体の福祉の充実ができ、それが定住促進につながって行くこと確信します。
内灘の未来に夢と希望を持ち、今後も取り組んでいきたいです。



町民の皆様と共に

住民とのコミュニケーション
についてお聞きします

能村 憲治 議員

町民の皆様から、議会への期待が高まってきています。
議会も一歩前へ出て、地元住民（町内会・区会・サークル等）と共に開催する、議会報告会など議会改革について話し合っています。
先進地への視察研究を進めて、しっかり取り組んでいきたいと思えます。

全議員にお聞きしました

新春インタビュー「スタンドアップ」

野球場の照明塔改修など 6,875万円を追加

平成21年第4回定例会が開催され、補正予算5件のほか、条例3件、指定管理者の指定、請負契約の締結など14件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。
また、人権擁護委員1名の選任に同意しました。

予算

一般会計

6,875万円を追加し、
総額を86億6334万円としました。(全員賛成)

●主な内容

腐食老朽化による改修 **2,960万円**

内灘町野球場の照明塔改修

道路整備 **5,000万円**

主要幹線道路の舗装改良工事

インフルエンザ等予防接種 **1,141万円**

生活保護・町民税非課税世帯に全額補助
高校生まで1回接種につき千円、2回まで助成
高齢者の季節性インフルエンザ予防接種は
3千円助成
高齢者の肺炎球菌予防接種は2千円助成

私立保育園の未満児保育 **856万円**

未満児の割合が増えたことによる追加

下水道への接続 **250万円**

平成22年1月からの福祉センター下水道料金

安全対策に万全 **620万円**

全国瞬時警報システム受信機の整備
210万円
グループホームのスプリンクラー整備
410万円

各小学校へ教材 **108万円**

電子黒板対応の国語デジタル教科書

子育て応援特別手当 減額 **3,083万円**

公共下水道事業 特別会計

償還方式の確定に伴う
補正1010万4千円を
追加し、総額を16億69
36万9千円としました。
(全員賛成)

国民健康保険 特別会計

高額医療が発生した場合、財政基盤の標準化を図ることを目的とした県内19保険者による拠出金概算額の確定による増額等1億4347万円を追加し、総額を26億2741万3千円としました。
(全員賛成)

新エネルギー事業 特別会計

風力発電所の制御盤内
メインスイッチを取替え、
383万8千円を追加し、
総額を3895万5千円
としました。
(全員賛成)



改修される野球場の照明塔

平成21年度 一般会計 補正予算

契約

総合体育館の耐震改修工
事

(株)豊蔵組との契約を議
決

(2億4780万円)
(全員賛成)

条例

町職員定数条例の改正

消防職員の定数を2人
増し、30人に改正

(全員賛成)

歴史民俗資料館条例等の
改正

歴史民俗資料館と風と
砂の館をボランティア団
体に運営していただくた
めの諸改正

(全員賛成)

人事案件

人権擁護委員

林腰 紀夫 氏

(再任・鶴ヶ丘)

(全員賛成)

第4回 臨時議会

11月13日

請負契約の締結に
ついて

内灘町総合公園大型遊
具整備工事

(株)豊蔵組との工事契約
を議決

2億2417万5千円
(全員賛成)



工事が始まった海賊船
(22年度オープン予定)

第5回 臨時議会

11月25日

一般会計

3055万7千円を
追加し、総額を85億9
458万7千円としま
した。

(全員賛成)

3055万円7千円
提供

ライフ・ケア・
オン・デ・マンド事業

女性のライフステー
ジ(妊娠・出産・子育
て)に応じた本人自身
と乳幼児・児童の健康
情報を自らが登録・蓄
積・活用できる仕組み
をICT利活用により
提供

条例

人事院勧告に従い給料、賞与支給率等の引下げ

一般職員 (賛成11人、反対4人)

一般職員

- 給料表月額引下げ
- 賞与支給率引下げ
(6月0・2月分、12月0・15月分、
合計0・35月分の減)
- 住居手当(新築・購入後5年に限
り月額2500円)の廃止

特別職・議員 (全員賛成)

特別職 議員

- 賞与支給率の引下げ
(6月0・15月分、12月0・1月分、
合計0・25月分の減)

採択

に沿った意見書を、内閣総理
し、その実現を要請しました。

核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書 (全員賛成)

◎提出議員 清水 文雄
賛成議員 北川 進 夷藤 満 恩道 正博

- ◎趣旨
1. 非核三原則を堅持し、平和市長会議が提唱する2020年までに核兵器の根絶をめざす「2020ビジョン」を支持し、その実現に向けて取り組む。
 2. 世界各地に非核兵器地帯条約が実現するよう国際的努力を行なう。
 3. 核拡散防止条約 (NPT) の遵守および加盟促進、包括的核実験禁止条約 (CTBT) 早期発効、核実験モラトリアムの継続、兵器用核分裂性物質生産禁止条約 (カットオフ) 条約の交渉開始と早期妥結に取り組む。

採択

議員提出

会

提出先

内閣総理大臣、外務大臣、
衆議院議長、参議院議長

提出

あなたの請願

◎請願者 金沢市上荒屋1-312 東 孝二
◎紹介議員 北川 悦子

1回目

「核兵器のない世界」に向けた政府の責任を果たすことを求める

(継続に賛成13人、反対2人)

継続審査

討論

継続に賛成

【生田 勇人議員】
元の医療制度に戻すのか、また代替案があるのか、そういう議論がなされていない中で速やかな撤廃に賛成できない。よって、継続審査に賛成する。

賛成

【北川 悦子議員】
後期高齢者医療制度について長妻大臣は、廃止は当然と表明した一方で先送りを公表している。国民の要望を真摯に受けとめて、一旦老人保健制度に戻し、新制度はその後の国会で審議の上、実施を求める。

反対

【藤井 良信議員】
すでに厚生労働省では、この制度を廃止するとしている。22年夏をめどに基本的な方向について中間的なまとめを行ない、平成25年4月に新たな制度を施行することが明確に文化されている。要望の必要性が無い為反対。

◎請願者 内灘町字鶴ヶ丘4-1-116 北川 進
◎紹介議員 北川 悦子

1回目

後期高齢者医療制度のすみやかな廃止を国に要望する

(継続に賛成13人、反対2人)

継続審査

意見書

本会議で採択した請願の趣旨
大臣をはじめ関係大臣に提出

採択

委員会提出

「中小企業等に対する金融の円滑化を 図るための臨時措置に関する法律」のよ り充実を求める意見書 (全員賛成)

◎提出議員 産業建設常任委員会委員長 恩道 正博

◎趣 旨

1. 現段階で対象外とされている多くの中小・零細企業にも資金が回るよう対策を講じ、目的に合致した制度とすること。
2. 行政は各金融機関に対して、企業が制度を安心して利用できるよう指導の強化を図ること。
3. 段階や状況に応じて実施期限や制度の内容などを見直すこと。
4. 政府は返済猶予で企業を延命させることと平行して、抜本的な2番戦略的景気対策に早急に取り組み、景気経済の立て直しを行なうこと。

提出

提出先

内閣総理大臣、内閣官房長
官、内閣府特命担当大臣、
衆議院議長、参議院議長

国



審査しました

討論

賛成

【北川 悦子議員】
日本には温暖化対策のための制度がほとんど存在していない。日本の温室効果ガスの8割は産業部門から排出されている。大幅削減の鍵は、気候保護法を制定し、対策をとる必要がある。

反対

【川口 正己議員】
首相は他の国が同意するなど条件付きでCO₂の25%削減をと言いましたが、COP15では、日本の25%だけが突出している。

4回目

「気候保護法(仮称)」の制定を求める

(請願に賛成3人、反対12人)

不採択

3回目

不採択

政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米買い入れを求める

(請願に賛成1人、反対14人)

継続審査

EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する

1回目

(継続に賛成14人、反対1人)

◎請願者 能美市辰口町204-1 宮岸 美則
◎紹介議員 北川 悦子

総務常任委員会

1カ所だけなのはなぜか

Q 介護施設のスプリンクラーの設置で、対象施設が5カ所あるが、国の補助があるにもかかわらず、設置申請が1カ所の施設だけなのはなぜか。

A 国の補助があるが、120万円は自己負担がかかる。設置が義務付けられる設備なので、設置申請を指導していく。

Q 全国瞬時警報システム（J・アラート）整備事業とはどんな事業内容か。

A 気象庁、内閣官房からの緊急情報を、総務省消防庁を通じて無線で受信するもので、「緊急地震速報」「津波情報」など。県内自治体は全て整備予定。

Q 職員の定数条例改正で、消防部局が2人増えた。一方で町長部局の職員を2人減らした。その理由は何か。

A 消防部局の定数を増やしたのに合わせて町長部局の定数を減らし、現時点で総数を変えない措置とした。



買い換えられた消防ポンプ車と指令車

● 視察レポート 三重県 平成21年10月28～30日

- 私鉄整備（いなべ市）
- ふるさと未来づくり推進計画（伊勢市）
- 自治基本条例（伊賀市）

北陸鉄道の浅野川線は乗客数が減少し、継続して運行できるか検討されています。

そうした中、いなべ市の北勢線対策室と近辺の駅を視察してきました。行政との連携で資金、業務運営がしっかりなされ無料駐車場の整備、待合室、トイレの充実など、利用促進に努力されています。また存続については住民と行政が一体となった署名、要望書活動など見習う点が多くありました。

次に「まちづくり条例」をよ

り発展したものにしたいと、伊勢市の「ふるさと未来づくり推進計画」伊賀市の「自治基本条例」を学んできました。いずれの市も合併により、新しい自治体のあり方が問われ、小学校区を基本とした、市民の方を中心とする、自発的な自治のしくみづくりがされていました。

内灘町には、各地区に公民館があり、まちづくりの土台がしっかりしていることが感じられます。



伊勢市役所での研修

文教福祉常任委員会

省エネ化を図れ

Q 北部保育所耐震補強工事は、施工に伴い断熱材を入れれば、暖房費用の節約になる。

A 設計委託は、耐震補強のみの契約だった。今後、断熱材の敷き込みを検討する。
(その後検討され、断熱材が施工された。)



北部保育所工事の現地視察

Q 町施設の維持費節約の為、定期的に総点検するシステム作りが必要ではないか。

A 物を大切にするという意味でも、今後、内部でシステム化を検討する。

Q 風と砂の館を町直営の管理にしないのではなか。

A 郷土の拠点づくりをしつかりとするため、将来的にはボランティアグループによる、解説や管理をお願いしたい。生涯学習として、そのグループをダイレクトに育成していくため、直営管理としたい。

● 視察レポート 愛知県 平成21年11月17～19日

- たはらエコガーデン (田原市)
- ひかりのさとファーム (東浦町)
- 臨空新エネルギーパーク (常滑市)

田原市では、たはらエコガーデンの菜の花エコを視察し、「菜の花栽培→菜種油→廃油を集め燃料化」を循環し、荒れている遊休地を整備し、再び農地として利用する再活用を一番の目標にしています。食糧の自給率アップや地産地消が叫ばれ、農業の重要性が再認識される時代に合った取り組みだと思いました。

ゴミを500度で蒸し焼きにして炭化したものを、契約した企業に販売し、ごみの減量が進められています。

次に、東浦町のひかりのさとファームでは、約2万坪の土地を牧場主から寄付を受け、設立当初から自立を目指し、鶏の飼育、パン工房、レストラン、自家焙煎コーヒーへと広がっています。どれもが「自然食品」で時流に沿うもの



常滑市の臨空新エネルギーパーク

となっており、施設全体がいきいきと感じました。

次に、常滑市の臨空新エネルギーパークでは、公募で研究企業を募り、集光式太陽光発電や、バイオマス利用スターリングエンジン発電、家庭用燃料電池の耐塩害性耐久評価の実証研究など万博の事業が継続されています。新しいエネルギー技術研究の取り組みに多くを学びました。

産業建設常任委員会

工期は大丈夫か

Q 総合公園の海賊船建設工事で、芝生の根付きの面から工期は大丈夫か。

A 3月末までの工期だが、芝養生に1ヶ月かけて5月連休のオープンとしたい。

Q 地域活力基盤創造交付金の使用道は何か。

A 除雪費、消雪電気料。道路照明のLED化にも使いたい。

Q 能登有料道路の直線化について、状況を聞く。

A 今年度の事業費は6億2千万円。県へ来年度について聞くと、「予定通り進める」との回答。

Q 準幹1号線は、交通量が多くなっている。幹線道路へ格上げをすべきでは。

A 交通量調査をし検討する。



コンフォモールへ続く坂道の消雪工事

Q 公共下水道費の薬品費、汚泥処分費は、入札が単価のため年間総額がわからない。

A 総額約1620万円となる。

Q 消雪設備の設置の基準と、今後の予定はどこか。

A 設置基準は幹線道路の坂道。今年度の予定は、現在施工中の鉄板道路(幹3号向粟崎線)で終わり。

- 養鶏施設の養液飼育 (出水市)
- 合宿・企業等誘致 (綾町)
- 就労支援・水耕栽培 (国富町)
- LED照明 (宮崎市)

● 視察レポート 宮崎県・鹿児島県 平成21年10月5～7日

鹿児島では、出水市の養鶏施設「ファーム大勝」を訪問し「リビュー水」を取り入れた循環型産業形成と、衛生環境改善等の取り組みについて視察しました。宮崎県では、綾町・国富町・宮崎市の3カ所を、それぞれの目的のもと訪問しました。綾町では、自然環境・文化・産業などの歴史を活かした滞在型のスポーツ合宿誘致、植樹ツアーの招致、陶芸家誘致、独自性を活かしたイベント開催など、主に旅行会社と提携した企業誘致に積極的に取り組んでいました。国富町では、障害者の就労支援を行う施設「向陽の里」を訪問し障害者による養液栽培の取り組みについて現場を視察し、構築した自主生産から販売体制までの詳細を学びました。



宮崎県向陽の里の水耕栽培

宮崎県では、出水市の養鶏施設「ファーム大勝」を訪問し「リビュー水」を取り入れた循環型産業形成と、衛生環境改善等の取り組みについて視察しました。宮崎県では、綾町・国富町・宮崎市の3カ所を、それぞれの目的のもと訪問しました。綾町では、自然環境・文化・産業などの歴史を活かした滞在型のスポーツ合宿誘致、植樹ツアーの招致、陶芸家誘致、独自性を活かしたイベント開催など、主に旅行会社と提携した企業誘致に積極的に取り組んでいました。国富町では、障害者の就労支援を行う施設「向陽の里」を訪問し障害者による養液栽培の取り組みについて現場を視察し、構築した自主生産から販売体制までの詳細を学びました。宮崎市では、「共立電機製作所」を訪問しLED照明を製造している工場見学や、LED照明についての現状と展望をヒアリングし意見交換を行いました。これらの視察により、わが町の特徴をいかに活かし、対外に向けてPR発信することの重要性を認識し、今後の取り組みへの期待と決意を膨らませました。

環境開発対策特別委員会

出店社の選定方法は

Q 白帆台商業地の出店計画で、2社より応募があったが選定方法は。

A 地域住民の要望や定住促進、町の活性化につなげるためのプロポーザル方式によってすすめる。具体的には選定委員会を設置し決定していく。

Q 企業立地推進室に、専任者を配置し強化を図れ。

A 企業立地の部署を強化したいと考えており、できるだけ早くまとめたい。

Q 水道事業について、自己水分を金沢市から臨時的に供給してもらっている。いつまで続けるのか。

A 自己水の取水障害で、不安定な状況なため、災害協定・臨時的対応で供給を受けている。実証実験の結果をもとに、水道事業の広域化も含めて検討する。



オープンしたコンビニエンスストア

● 視察レポート 平成21年11月4～6日

●宮城県大郷町
●岩手県金ケ崎町

議会広報対策特別委員会

両町は過去、全国コンクールにおいて、優秀賞をはじめとして入賞や奨励賞の受賞を果たしているという実績を有しています。

まず視察の目的として、これまでの私たちの編集方針に加え、マンネリ化を防ぐとともに、より町民が親しみやすい議会広報を目指す。

今回の研修を通して得た成果としては、町民に議会活動を知らせる使命と責任を再確認するとともに、町民参加の広報誌のために「町民の声」を多く掲載していることを様々な観点から学び、有意義な成果を得られたと考えています。

視察内容としては、対外的視点から、年間の発行回数やページ数、規格、印刷グレード、配布対象について、また対内的視点から、予算や編集体制についての留意点などを意見交換し研修を行いました。



大郷町議会での研修

議会運営委員会

議会運営委員会は「議会改革」について協議を重ねてきました。議会の改革は、何を改革するかを協議し、各議員の意向を取り入れ、無記名でのアンケートを実施しました。

それを基にして短期に実施するもの、長期的に時間をかけて実施していくものを整理し、当面、次年度の改革実施を目指すものとして、次の7項目を全員協議会に提案し、確認しました。



かほく市議会へ一般質問を視察

当面の改革検討内容

1. 一般質問を2日間とする。
(実施済み)
2. 一般質問は一問一答方式を採用する。
3. 当初予算審査のための特別委員会を設置する。
4. 関連質問を認める。
5. 議会報告会（議会タウンミーティング）の開催
6. 表決の結果を議員別に公表する。
7. 政務調査費の使途の見直しを図る。

行財政改革特別委員会

保育所民営化について

Q 民設民営化予定の町立保育所各所について、候補地の選定状況を示せ。

A 町として、早急に候補地を選定し、町主体で地域住民への説明会を行ないたい。

Q 北鉄浅野川線への支援について、方向性を問う。

A 既に検討は始まっており、運行にかかる自治体の費用負担や、整備にかかる財政負担を、しっかりと精査し取りまとめを行ない議会に報告する。

Q 町民主体による基本条例では、議会との整合性をどう考えるのか。

A 町民会議により住民の意見を取りまとめ、議会に示し議会議決で策定されるという手順を考えている。



民設民営の白帆台保育園

Q 行財政改革推進委員会が任期満了となり、一定成果の達成により解散した。これからの行財政改革を進めるうえで、第三者的機関などが必要と考える。

A 町の推進本部が継続して行財政改革に取り組んでいき、そこへ町民や民間の意見や考えを取り入れていく。

20年度決算の

指摘・要望事項

決算特別委員会

公共事業を

計画的に遂行

総合公園第3次拡張事業とアカシア・向粟崎2号線の用地取得については、理解を得られるように町として交渉をしつかりと継続して行なえ。

シルバー人材

センターの運営指導

シルバー人材センターの登録者は会費を払って登録しており、仕事の発注に際しては登録会員に公平に発注するよう指導せよ。

予算執行には

細心の注意

随意契約を1つ見直すだけで、補助金を削減した分くらいの金額が出たケースもあり、随意契約の更なる見直しを図れ。

ゴミ袋の利用方法

クリーンビーチ清掃活動で、配付しているゴミ袋自体がゴミになっていることから、ゴミ袋削減の方法を検討せよ。

雇用の創出と確保

緊急雇用事業は、緊急度の高い人から雇用するのが本来の趣旨であり、趣旨に則した雇用の確保を図れ。

公用車の

効率的な計画

公用車のリース利用と買い取りの選択は、それぞれの利点をよく見極めに行なうこと。

農業の育成

遊休耕作地を活用して、農業を志す若い世代の育成を図れ。

諸問題の啓発促進

児童虐待について、一般町民向けに学習会など開いて啓発せよ。

職員の資質の向上

職員研修への参加を増やす工夫や努力をせよ。

駅前開発の展望

内灘駅前歩道の拡幅とバリアフリー化について継続して努力せよ。

河北潟の水質浄化

河北潟水質浄化を国や県に強気に働きかけよ。

災害協定の締結

町建設業協会との災害協定締結を早急にせよ。

下水道への接続指導

公共下水道の未接続世帯が470件ほどあり、約1千万円の使用料金が入って来ない状況から、未接続の解消に向けて接続するよう強く指導せよ。

今後の水道事業

水道事業全体の今後のあり方を議論し、将来構想図を示せ。

霊園のバリアフリー

内灘霊園の通路のバリアフリー化を図れ。



早期整備が望まれているアカシア向粟崎線



生田 勇人 議員

河北潟周辺の将来展望は

観光資源として発信

町長

生田 河北潟周辺の利活用を2市2町のシンボルとしての位置づけから、公共交通機関の連携や現在も各種団体が取り組んでいる、合同イベントの模索等アイデアを募り、話し合う協議会の設置など、干拓地の現状と将来展望を考え、水質浄化後どうしたいのか、目的を持った取り組みが大切だ。

農業用水を確保し

汽水域へ復活を

生田 現在河北潟調整池は淡水域で、農業用水として使用されており、各流入河川では水位調整水門も設備されている。

それらを活用して農業用水の確保を前提に防潮水門を開放することにより閉鎖的水域を解消し、かつての清湖・蓮湖と称され、海の浄化作用を取り入れた**汽水域**として水質・生態系を復活できなしか見解を問う。

町長 環境保全、また豊かな水資源に親しみ、周辺住民のみならず観光客をも呼び込むような観光資源としての整備にもスポットをあて、河北潟の効果的な利活用方法について2市2町で協議を重ね、主体的な取り組みを県や国に対し発信していきたい。

積極的に

議論を進める

町長 汽水域に戻す前提として、農業用水ポンプ

の位置あるいは塩水の残留性や水門の管理など、多方面から様々な調査研究を行なって、その影響を推しはかる必要がある、干拓地土地改良区や北陸農政局との連携で調査研究を進めてきている。

農業用水確保を目的とした水門の設置についても議論をより積極的に進めたい。

生田 当町主導による河北潟沿岸市町への積極的な提案発信を。

町長 2市2町による河北潟環境対策期成同盟会において、当町が牽引・リードしていく考えだ。

生田 今後はどのような観光資源にあて、魅力づくりに取り組んで行くか、町長の構想は。

町長 恋人の聖地にふさわしい環境のもとで、若者たちが楽しんでもらえるような方向性を検討。

用語解説

汽水域 河口など海水と淡水が混じり合っている水域。



河北潟の防潮水門



藤井 良信 議員

地域主権の理念を問う

町民主体のまちづくりが重要 町長

藤井 地方分権とは何か、地域主権がなぜ必要なのかという部分が曖昧なままでは、主権者である住民を置きざりにした議論が支配的となり、本来の地域再生とか、地域間の格差是正とはならないことが懸念される。

地方分権時代における地域主権の理念について町長の認識をお伺いする。

町長 自治体みずからにおいて高い経営力と責任が求められている。地方分権があるから地域主権をうたうということではなく、自らの地域課題を自分たちで解決をし、責任を果たすという、町民主体のまちを創っていくことにこそ、地域主権はあると私は認識をしている。



図書館の風景

藤井 町民の意識の啓発での観点から地域主権の確立を町は、どう展開するか考えをお伺いする。

町長 今年度地域主権の実践者である前・我孫子市長、福島浩彦氏の講演を予定している。

藤井 町の予算編成に当たり、国の事業仕分けを町長はどう認識したか。

町長 地方の実情をどの程度考慮した上、財源移管がされるのか現時点では不透明な点が多い。

藤井 税金の使途など町民意識が今後ますます高まっていく。町民ニーズへの対応を示せ。

町長 予算説明書を公開し、各公民館、図書館に配布するなど情報発信に努める。

藤井 凍結が心配されていた町のスクール・ニューデール。今後の予定を問う。

教育長 すべての小学校に太陽光発電設備の実設計を行っており3月下旬までに完成させたい。

藤井 議会改革の推進について町長が議会に期待することは何か。

町長 町民にわかりやすい議会活動を望む。

藤井 学校問題解決のためへの対応はどう行なっているか。

教育長 保護者と学校組織、教育委員会や児童相談所等連携を図り、解決への体制をとっている。

意見書の見解は

藤井 町の行財政改革推進委員会より提出された意見書の見解を示せ。

行政診断など

導入を検討

政策部長 財政的に危機的状況から脱したと認識している。

経営的視点においての外部評価、行政診断などの導入を検討したい。

教育長 町の校長会などで協議しながら検討を重ねてまいりたい。

一般質問 9人が登壇



南 和彦 議員

カリキュラムに組み入れよ 学校現場と話し合っていく 教育長

南 心肺停止患者の社会復帰率は、全国平均で約4%。先進であるノルウェーのスタバンカでは、約40%である。この違いは、CPRを学校の教育カリキュラムに組み入れていることにある。

自他の生命を尊重し、健康で安全な学校生活に向けて小中学生にAEDやCPRの実習を学校教育の場でできないか。

教育長 町内全ての小中学校にAEDが設置されている状況の変化があり、それを踏まえ、命の大切さ、救う側、救われる側、両方の教育をしていかねばならない。

カリキュラム組み入れについては学校現場と話し合っていきたい。



鶴ヶ丘地区の防災訓練

地域活動で実践すべき

南 小中学生にAEDやCPRの実施は、学校教育で得た救命知識として地域社会の活動の場において実践するべきである。それが子供たちにとって生きた知識になる。

今後、本町の震災防災訓練や地域自主防災訓練の際、町の小中学生に学校を通じて参加の呼びかけを行なう考えはないか。

参加を呼びかける

町長 児童生徒が地域行事に参加し、地域社会とのかかわりを深めながら、また地域の方々が子供たちを見守りはぐくむ環境づくりを行なっていくことは、大変重要なことと考える。

今後は学校を通じて、児童生徒の参加を呼びかけたい。



AED訓練

用語解説

AEDとは、突然心臓がとまって倒れてしまった方々の心臓のリズムを心臓に電気ショックを与え、再び正しいリズムに戻し蘇生するための治療機器。

CPRとは、呼吸がとまり心臓も動いていないと見られる方への呼吸や循環の方法をいいます。

いずれも、突然心臓がとまって倒れてしまった方に対して、医師や救急救命士の到着を待ってから治療を始めるのでは、倒れた方の多くを救命できないというリスクを回避し、救命へのチャンスを持続するために、補助を目的としたものです。

新型ワクチン集団接種を

医師会と相談、検討する 町民福祉部長

川口 厚労省は、各市町村、医師会に対し、新型インフルエンザワクチン集団接種の検討を早急に求めている。

子供たちの新型インフルによる重症化を防ぐために、集団接種を早急に医師会と検討し実施せよ。

町民福祉部長 現在、供給されているワクチン量は、予約者数のわずから割程度である。医師会主導で確保しなければ、町では集団接種が実施できない状況である。

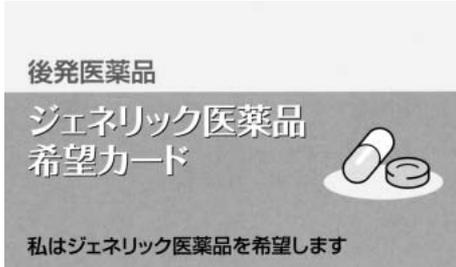
早急に町内の医師会と相談の上、今後検討していきたい。



予防接種



川口 正己 議員



ジェネリック医薬品カード

川口 新型インフルエンザの影響で、献血が足りないと報道されている。

町民福祉部長 県では確保されており、万一の事態には、赤十字と連携を密にし、普及啓発をはかる。

川口 ジェネリック医薬品を処方してもらえらるように、希望カードを配布してはどうか。

町民福祉部長 早期に健康推進課の窓口他希望カードを置き、保険証更新時に希望カードを同封し普及啓発を図りたい。

ネーミングライツを導入せよ

川口 来春完成する大型遊具「海賊船」には、以前以上の来客が見込まれる。

企業に命名権を購入してもらい、厳しい町財政の補てんとなるよう、**ネーミングライツ**を導入せよ。

可能性を検討したい

町長 海賊船については、子供たちの発想で名称を決めたい。

しかし財源を確保する効果的な手段として、企業と連携できれば施設の知名度がアップし、施設活用の促進につながる。今後、公共施設全般について検討していく。

用語解説

ジェネリックとは、新薬の特許期間の切れた後に、他社が製造する新薬と同一成分の薬。効能、用法、用量も新薬と同じ。開発費がかららないため価格が安い。**ジェネリック医薬品**。後発医薬品。

ネーミングライツとは、スポーツや文化施設に、企業名や商品名をつける権利を、とくにネーミングライツとよんでいる場合が多い。施設の所有者は命名権を企業などに譲渡することで企業から資金を得ることができ、命名権を獲得した企業は、施設への命名によって、メディアなどを通じて広く企業名や商品名をPRすることができる。



清水 文雄 議員

行財政改革は永遠の課題

最重要課題として取り組む

町長

基本方針を早急に

清水 町立保育所にパート・嘱託職員が多く、正規職員を増やすべきだ。

町民福祉部長 町立保育所の民営化を見据えた上で、正規採用人数を検討。

清水 パートに無資格の方を多数採用している。

保育の質は低下しないか。

町民福祉部長 シフト制の勤務体制を導入していることによるもの。

清水 賃金、労働条件を見直し、有資格者を集めるため努力せよ。

町民福祉部長 受給面・労働条件とあわせて職場環境改善も検討したい。

話し合いの中で

方向性をはかる

町長 地区公民館施設はまちづくりの拠点として大きく貢献してきたと認識しており、今後の組織の方向性については、いろんな選択肢もある。

町民福祉部長 地域や町民の皆さんとともに話し合いの中で、方向性について合意形成をはかっていく。

清水 新組織を立ち上げ、短期、中期、長期計画を策定し、推進せよ。

町づくり政策部長 協働のまちづくりを進める町民組織を立ち上げていく。

清水 鶴ヶ丘小学校のエコスクールの成果を役場庁舎内エコに結びつけよ。

総務部長 役場庁舎内に生かせる取り組みを推進していきたい。

清水 車両事故が多いコンフォモール入り口交差点に信号機の設置を。

町民福祉部長 交通量が增加してきた場所であり、強く要望していきたい。

町長 財政調整基金からの繰入額が大幅に減額となり、改革の成果は出ている。

歳出削減が徹底されたが、事務事業、施設管理、組織の見直しについては検討する余地がある。町財政実質収支が黒字に転じるよう、引き続き最重要課題として取り組む。



大根布小学校5年生のみなさんによるエコ活動の取り組み発表



恩道 正博 議員

LED照明を公共施設に

水銀灯を順次交換する 町長



街灯がLED照明に交換予定の医科大通り

恩道 町の街灯の数は、町及び各町会の管理あわせて約2800カ所を超えており、これを全てLED照明に交換した場合電気料金の削減額は年間200万円となり、削減率は31%となる。今後公共施設の照明や町内の街灯、防犯灯の更新にあわせてLED照明に切り替えることを提案する。

町長 来年度以降、国土交通省の補助を受けて主要幹線である医科大通りの水銀灯を順次LED照明に交換する予定。LEDの製品精度の向上や量産体制に移行することにより価格動向を見極めながら、国の補助制度を最大限活用し、公共施設全般で効果的導入を進めていきたい。

恩道 街灯・防犯灯をLEDに取り替える場合、町の補助制度を設けて設置を推進せよ。

町長 効果的な補助のあり方を前向きに検討したい。

消防庁舎の移転計画は

恩道 昭和49年に建設された消防庁舎は東側に傾き、その後増築された庁舎との段差も大きくなっている。

町は行財政改革を進め、財政を維持する厳しい状況はわかるが、町民の生命と財産を守るべき拠点である消防庁舎の移転計画についてどう考えているのか。

恩道 洪水ハザードマップでは、町消防団の第2・第3・第4分団の格納庫が浸水想定区域にある。対策はどうか。

消防長 格納庫内の消防車両などの一時的移動で、非常時に備えたい。

恩道 各分団格納庫の移転を含めた対策についてどう考えるか。

消防の広域化を見据える

消防長 現在、消防広域化に向け、金沢市、かほく市、津幡町と内灘町の2市2町で勉強会を実施している。その中で消防広域化の具体的な形が見えてきた時点で、庁舎建設を進めたい。

消防長 老朽化により建て替えの時期が来たら、移転先等協議していく。

恩道 「うちのたの里」の就労支援として、トマト養液栽培を町から提案してはどうか。

副町長 様々な課題もあり、支援を含めて検討し、必要な情報を提供していきたい。



北川 悦子 議員

国保税の減免を問う

国の動向をみて検討

町民福祉部長

北川 不況下、町の国民健康保険税の減免、一部負担減免基準の範囲を「納税義務者の失業、廃業、疾病、死亡により著しく所得が減少したことで生活に困窮し保険税の納付が困難になった場合」に拡大し改定せよ。

町民福祉部長 失業などにより所得が減少したという理由での一律減免は公平かつ適正さに欠ける。国は企業の倒産などによる非自発的失業者に対しての軽減制度を検討中、調査し町の減免基準を検討する。

北川 町がとめ置きしている短期保険証を即送付し相談体制をはかれ。

町民福祉部長 連絡がない場合は、電話や自宅訪問で早期交付に努めている。

北川 町で75歳以上の医療費を無料化した場合の試算を示せ。

町民福祉部長 約1億9000万円の財源が必要。

北川 子供の医療費窓口無料化は親の願い。県に窓口無料化を要望せよ。

町民福祉部長 国の子育て支援策の方向性を見極め検討し県に要望していく。

北川 5歳児検診が実施されているが、健診方法に問題点はないか。

健康推進課長 就学に向けて心の準備ができると保護者からも好評である。

子供たちに

平和の大切さを

北川 かつて原爆投下の日を夏休みの登校日にし平和について学んだ。平和学習を学校教育で実践せよ。

町内在住の戦争体験者の話を聞くことや写真展、映画会を開催することは、平和を語り継ぐ点で重要、見解を示せ。

実現可能と考える

教育長

提案された取り組みは実現可能と考える。教育現場の意見も十分に聞きながら検討する。また現在、町内各学校では夏休みの登校日での学習や、絵本・ビデオ等を使った実践学習に取り組んでいる。



鶴ヶ丘西児童公園遊具危険テープ

北川 全国学力テストを、全員が受ける必要との見解だったが再度問う。

教育長 文科省からテストの提供を受け、対象外の学級でも実施したい。

北川 公園遊具の故障表示を子供の目線でもわかるよう改善せよ。

都市建設課長 早急に改善する。

北川 消えかけている白線・道路表示を春まで待たずに改良せよ。

都市建設課長 管理区分に応じて県公安委員会に働きかけ対応していく。

積極的な魅力発信せよ

ライフステージにあわせて表示

情報政策課長

水口 町のホームページは、月間1万件ものアクセスがある。

年間12万件、毎日約350人が町の動きに関心を持っている事になる。

町の顔であり、もっと積極的に内灘町の魅力発信のページをつくり、定住促進や交流人口増加につなげよ。

情報政策課長 現在、町ホームページの改修作業中である。

改修の中でライフステージにあわせた「妊娠・出産」「子育て」「転入・転出」「高齢者」等のアイコンを表示して、その人が知りたい情報、関連した情報が見られるようにしたい。

水口 ホームページに「委員会」が沢山あるが幾つかは更新されてない。

情報政策課長 最新の内容に整理し、更新を図る。

水口 「委員会」の公開の基準はあるのか。

情報政策課長 原則公開。しかし、個人情報で公開できないものも多くある。

水口 ホームページで「各委員会」の開催予定を知らせよ。

情報政策課長 予定が立っているものについては、表示をしたい。

水口 訂正は表紙に訂正したことがはっきりとわかるように。

情報政策課長 訂正は速やかにわかりやすく発信したい。

広がりよ次の世代を

どう喚起するか

水口 まちづくり基本条例は、今後のまちづくりの方向を決める大切なものだが、まだまだ広がっていない。

条例策定の意義をどのように周知していくのか。また町を担う次の世代の参加をどう喚起するのか。

水口 情報公開と共有、行政参加と住民重視を条例で決めておく必要があるのでは。

町長 策定過程において十分議論されるものと考えている。

水口 社会福祉協議会は町に職員増員を申し入れたと聞いた。増員するのか。

町民福祉部長 増員を来年度に向けて検討していきたい。

町民会議と

町会からの推薦で

町長 町民が主体的に参加して、町の課題やあり方について議論し、条例策定への母体となる町民会議を設けたい。

町民会議に、広報やホームページ等で広く委員を募り、各町会から次世代を担う人の推薦をいただくことも考えている。

水口 サイクリングツアーミナールを一日も早くバリアフリーに。

生涯学習課長 耐震診断調査の結果を踏まえ計画的に実施をしたい。



水口 裕子 議員



次世代の参加を喚起できるか？
(健康づくり推進員タウンミーティング)



八田 外茂男 議員

浅電の利用促進をはかれ

広域による地道な活動で 町長

情報で町民を

巻き込め

八田 金沢市は、公共交通アクションプログラムを取り組みを行ない、浅野川線に対していろいろな提言をしている。町として今までどんな行動を起こしてきたか。

八田 浅電とコミュニティバス及び路線バス等の連携が必要だ。

八田 町の協議会、審議会は、現地で開催するなど、ニュース性を持たせて発信せよ。

八田 まちづくり基本条例などを今後すすめていく上で、どのように町民を巻き込んでいくのか。情報をうまく活用して伝える必要があり、情報の出し方、あり方をどのようにするのか。

町長 町は公的資金を導入し、鉄道を継続するか代替交通に移行するかは大変大きな問題であり、現在検討している。

町長 浅電を多く利用してもらうための大事な課題だ。検討していきたい。

副町長 現地で開催してできるものは働きかけていく。

副町長 町民の方々により関心を持っていただければ、協議過程をつぶさにお知らせしていきたい。

利用促進を目的に連携事業を実施し、公共交通に対する理解を深めており、かわら版「浅伝」の発行も始めている。

広域による地道な活動を来年度も引き続き実施していきたい。

ホームページでは、まちづくり基本条例に関するものを一覧できるようにする。



金沢市との公共交通利用促進プログラム



内灘町ホームページ

協議過程も

知らせる

ホームページでは、まちづくり基本条例に関するものを一覧できるようにする。

追跡

ありゃ～どうなったがいね～



● 定例会での一般質問のゆくえ

子供の自転車用ヘルメット購入に助成金を

「自転車の町」を目指す町として、子供たちが安全に自転車に乗って楽しく遊べるように、ヘルメットの着用をさらに推進し、ヘルメットを購入する際には補助する考えはないか。【平成20年12月議会 夷藤 満議員】

その後

各小学校を主として314件の助成

平成21年7月から助成制度を始め、10月末までに、各小学校を主として、314件の助成がありました。申請には、領収書や明細書等が必要です。

内灘産米を学校給食に

地産地消、食の安全、食農教育の観点から、品質の良い内灘産米を、学校給食に取り入れる考えはないか。

【平成20年12月議会 生田 勇人議員】

その後

町内水田を指定産地に

北部営農組合水田（宮坂地区）を学校給食米用産地に指定し、平成21年4月より、地元産米を使用して配膳されるようになりました。地元産米粉で作るパン給食も検討中。

鶴ヶ丘4丁目在住、西田恭子さんの自家製煮麺が静かなブームを呼びつづあります。実はこの煮麺、このほど一部の方々から評判をお聞きして、広報委員会でも室在住の荒谷小枝子さんにもお手伝いを頂き、ごちそうになりました。どなたからも大好評で、地域おこしでの「内灘ブランド」として発信できないかとの声もありました。食材としては秘伝のとりにガラスープをベースに豚肉・もずく・アオサなど意外性のある具材が同

うちなだ煮麺

いもん
みつけた！



お二方を囲んで

居した、何とも形容しがたい旨みと味わいです。「内灘おふくろの味」としてもっと地域に広まっていくことで町の活性化へとつながっていくことを願っていますが、皆さんで応援していきたいですね。

議会録画をご覧ください

● 町ホームページで、インターネット配信されています。

町議会Eメールアドレス gikai@town.uchinada.lg.jp

町ホームページ <http://www.town.uchinada.lg.jp>



議会を傍聴しませんか

次の議会は3月に開催されます。傍聴の受付は、3階のエレベーター横で行なっています。

議会事務局 TEL 286-6715

突撃! あなたの声 街がどインタビュー

人と人との和が かけがえのない財産

今回インタビューする人は、千鳥台にお住まいの今井裕一さん31歳です。



○小学校入学と同時に内灘町へ引っ越して来て、25年になります。

◆内灘に住んで何年になりますか。

◆内灘の魅力や良いところを教えてください。

○公園や広場が多くあり、子どもたちにとって環境の良さが魅力だと思います。

◆日頃から親しんでいる趣味やスポーツはありますか。

○小学校から柔道を続けています。現在は町少年柔道教室で子どもたちの指導にも携わっています。

◆スポーツを通じて得たものを教えてください。

○礼儀作法や上下関係の大切さを学び、そこから生まれる人と人との和が、今の私にとってかけがえのない財産です。

◆町に望むことはありますか。

○現在、柔道を指導する立場から、武道館が狭く、子どもたちの練習が思うようになりません。耐震強度も満たしてないと聞いていますので、安心して取り組めるような環境を整備して欲しいですね。町各種教室の要望を聞



き、現状を把握するよう町や町議会には目を行き届かせて欲しいです。

◆議会を傍聴したことはありますか。

○まだ傍聴したことはありませんが、今後は是非傍聴し、議員の方々の取組みを見たいです。

ありがとうございました

インタビューー 生田 勇人

編集 後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年6月に広報委員が交代し、新メンバーになって間もなくの100号記念企画編集となりました。

みなさんいかがだったでしょうか?

広報モニター制度も復活し、今後意見を取りいれながら、より町政がわかりやすく読み良い広報づくりを目標に取り組んで行きたいと思えます。

本年が町民のみなさまにとって良い年でありますようご祈念申し上げます。

〔生田 勇人〕

広報対策特別委員会

議長	能村 憲治
委員長	藤井 良信
副委員長	南 和彦
委員	清水 文雄
委員	北川 悦子
委員	生田 勇人

